

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域住民への介護の理解促進事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護職員、介護職を離職中の方等	意図	介護の知識や技術等について情報を得て、介護の担い手のすそ野拡大による介護人材の増加と技術向上を図る。
事業内容	在宅介護の知識や技術等を習得する講座の実施			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県介護人材確保事業補助金を活用し、平成28年度から実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ちよっともっと介護塾参加者			51	人	↑↑↑
②	ちよっともっと介護塾開催回数			2	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

2件の広告媒体から取材を受けた。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成28年度は同一の講座を2回実施した。講座の内容を職種や難易度で分け、同一時間帯に複数の講座を用意し、参加者に興味のある講座を選択してもらう方式とした。途中参加・退席可としたため、介護職員に多く参加してもらうことができた。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,528,000
事業費(b)(円)			155,000
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			1,373,000
人役・職員(人)			0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	有資格で離職中の方への周知方法の検討が課題である。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	ハローワーク等と連携し、周知を行う。